

2012年度国際言語文化研究所萌芽的プロジェクト研究 B1
西洋見聞集研究会 シンポジウム

西欧見聞記『航米日録』に見る近代日本語をめぐって
～その可能性と展望～

日時：2013年3月7日（木）（13時30分～17時30分）

場所：立命館大学衣笠キャンパス 末川記念会館 第3会議室

第一部研究報告 13時30分～15時30分

① 『航米日録』に見る玉虫の表現意識

－外国地名表現から－

湯浅 彩央（立命館大学助教）

② 『航米日録』における「施設」語彙をめぐって

－語構成の観点から－

陶 萍（立命館大学大学院生）

③ 『航米日録』における中国白話語的な語をめぐって

浅野 敏彦（大阪成蹊短期大学名誉教授）

④ 西欧巡業記『広八日記』との比較

－正俗表現の位相－

彦坂 佳宣（立命館大学名誉教授）

第二部講演 15時45分～16時45分

幕末明治初期における異文化接触と食制語彙

橋本 行洋（花園大学教授）

第三部自由討論 17時～17時30分

問合わせ先

立命館大学文学部 湯浅彩央（研究代表者）

syt02001@fc.ritsumeai.ac.jp

参加無料

事前申込不要